

International collegiate Virtual Reality Contest
<http://ivrc.org/>

報道関係者各位
プレスリリース

2008年11月13日
IVRC 実行委員会

IVRC2008 岐阜本戦大会 結果発表

IVRC 実行委員会は、学生の自由な発想をバーチャルリアリティ技術として形にする国際コンテストとして、第16回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト（IVRC2008）岐阜本戦大会を11月7日・8日、岐阜県各務原市 テクノプラザにて開催いたしました。

9月13日・14日に行われた東京予選大会から選ばれた日本代表5作品とフランス代表1作品、計6作品が最後の決戦に臨み、ついに総合優勝および各賞が決定しました。

表彰結果

総合優勝 賞金50万円（SIGGRAPH2009 研修費）+SIGGRAPH 投稿サポート
作品名：YOTARO チーム：おたまじゃくし 所属：筑波大学

岐阜 VR 大賞 賞金10万円
作品名：The Dreaming Pillow チーム：Armella Leung, Olivier Oswald
所属：Universtité Paris 8

各務原市長賞 賞金5万円
作品名：La flèche de l'odeur チーム：TOM-KIT's 所属：金沢工業高等専門学校

審査員特別賞 賞金1万円
作品名：アソブレラ チーム：アトム 所属：大阪大学大学院

審査員特別賞 賞金1万円
作品名：かおさがし チーム：くろびかり 所属：北陸先端科学技術大学院大学

審査員特別賞 賞金1万円
作品名：人間椅子 チーム：変隊 所属：東京大学

Laval Virtual Award LavalVirtual2009 招待展示、旅費、宿泊費
作品名：YOTARO チーム：おたまじゃくし 所属：筑波大学

各務原市民賞 賞金1万円
作品名：アソブレラ チーム：アトム 所属：大阪大学大学院



International collegiate Virtual Reality Contest
<http://ivrc.org/>

・IVRC とは？

IVRC は 1993 年より続く学生対抗のバーチャルリアリティを活用したオリジナル作品の大会です。学生の大会でありながら作品の新規性・技術はもちろんの事、アート・エンタテインメントとしての面白さにおいても非常にレベルが高く、アメリカで毎年開催される CG とインタラクティブ技術の祭典である SIGGRAPH に過去 3 年間だけで IVRC 作品から 8 作品が査読を通過、出展を果たしています。IVRC 東京大会は出場者にとって、世界への挑戦のために越えなければならない、実機を伴う最初の関門となります。

IVRC2008 第 16 回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテストは、9 月 13 日・14 日、東京お台場 日本科学未来館にて、東京予選大会を開催致しました。東京予選大会では、書類審査とプレゼンテーション審査を勝ち抜いてきたインスタレーション部門 10 作品と、書類・ビデオ審査による予選を通過したハンズオン部門 7 作品の実演展示が行われました。そして、第一線のアーティストや学識経験者による審査と、延べ 3200 人以上の来場者による人気投票により、岐阜本戦大会出場作品および各賞を決定いたしました。

そして 11 月 7 日・8 日、インスタレーション部門上位 4 組とハンズオン部門上位 1 組は、フランスから迎える 1 組を交えて、岐阜県各務原市テクノプラザで決勝の火花を散らし、総合優勝作品およびすべての受賞作品が決定いたしました。



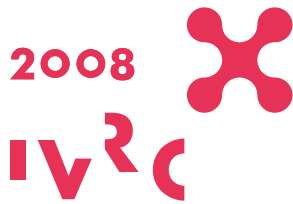
テクノプラザ エントランス



開会式の様子



会場の様子



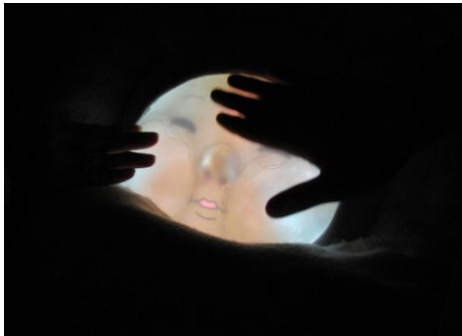
International collegiate Virtual Reality Contest

<http://ivrc.org/>

・表彰

表彰について詳しい内容をお伝えします。

『YOTARO』総合優勝・Laval Virtual Award おたまじゃくし（筑波大学）



東京予選では3位のYOTARO。「決勝に行くにあたって、みんなですべてを一から考え直して、作り上げた。そうでないと優勝できないと思った。」とリーダーが語るように、予選からの変化が今回最も目立った。予選ではYOTAROの顔のみであった作品が、決勝ではYOTAROのボディ、そして部屋までもが製作され、ボディの動き、部屋のディテール、放映されるメイキングムービーに至るまで徹底して作りこまれた。

その、周囲が圧倒されるほどの技術と表現力により、YOTAROは総合優勝に加え、Laval Virtualより与えられるLaval Virtual Awardにも選出され、見事二冠となった。

（総合優勝チームには副賞として、世界最高のCG、インタラクティブシステムの学会であるSIGGRAPHへの渡航費として50万円が進呈された。また、Laval

Virtual Award受賞チームにはヨーロッパ最大のVRイベントLavalVirtualにおける発表の場と、3名分の旅費、宿泊費が授与された。）

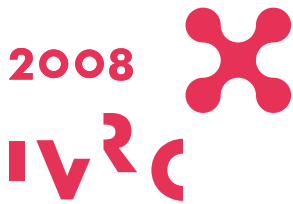
『The Dreaming Pillow』 岐阜 VR 大賞

Armella Leung, Olivier Oswald (Université Paris 8)

「枕を媒介として夢の中に入っていく」という斬新なコンセプトのもと、LavalVirtual2008、SIGGRAPH2008を経て日本にやってきた力作。自作の枕デバイスやCGのレベルの高さが評価され、フランス勢のIVRC初優勝まであと一歩と迫った。Armella Leungのコメント：「びっくりしています。日本にこられただけでも嬉しいのに、こんな賞をもらえるなんてとても幸せです。」

（岐阜 VR 大賞には賞金10万円が進呈された。）





International collegiate Virtual Reality Contest
<http://ivrc.org/>

『La flèche de l'odeur』 各務原市長賞

TOM-KIT's (金沢工業高等専門学校)



東京予選では1位のLa flèche de l'odeur。工学系では名の知れた大学がひしめき合うIVRCの中、高専生にもかかわらず果敢に挑み、そして一般に難しいとされる「臭い」関連作品でここまで大金星を挙げてきた。予選から決勝へ進むにあたり、グラフィック面でエフェクトの改善が見られたが、決勝当日は臭いセンサのキャリブレーションに苦しんだ。奇跡的に各務原産キムチが絶大な臭力を持っていることを発見し、堂々の各務原市長賞を獲得した。作者コメント：「各務原のキムチはおいしいです。皆さんもぜひお土産にどうぞ。」

(各務原市長賞には賞金5万円が進呈された。)

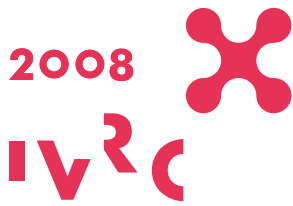
『アソブレラ』 審査員特別賞・各務原市民賞

アトム (大阪大学大学院)

激戦ハンズオン部門から勝ち抜いてきた実力派作品。雨の感触を再現する傘デバイスの機構の素晴らしさが高評価を得ており、一般来場者の人気投票では一位(各務原市民賞)を獲得した。

(審査員特別賞、各務原市民賞、両賞についてそれぞれ賞金1万円が進呈された。)





International collegiate Virtual Reality Contest
<http://ivrc.org/>

『かおさがし』 審査員特別賞

くろびかり（北陸先端科学技術大学院大学）



機械に顔ニューロンを持たせたかのようなこの作品。北陸先端科技大らしい、レベルの高い画像処理技術が売りであったが、当日は新規導入システムの不具合に苦しんだ。



『人間椅子』 審査員特別賞

変隊（東京大学）

「椅子の中に入って、座る人の感触を楽しみたい。」というかなりインモラルなコンセプトのこの作品。今大会を通じて常に独特の存在感を放っていた。



第16回 国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト

- 主催：** IVRC 実行委員会（日本バーチャルリアリティ学会、岐阜県、各務原市）
後援： 経済産業省、文部科学省、フランス大使館科学技術部
協賛： 株式会社オールオールジェイ、株式会社大垣共立銀行、株式会社クレセント、株式会社ビュープラス、株式会社VRテクノセンター、川崎重工業株式会社、岐阜信用金庫、三徳商事株式会社、株式会社フロム・ソフトウェア
協力： 日本科学未来館

【取材に関する申し込み・お問い合わせ】

日本バーチャルリアリティ学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-28-3 山越ビル 301
TEL:03-5840-8777
FAX:03-5840-8766
連絡先： ivrcinfo@ivrc.net
担当者： 猪瀬、田中